

# やまもり通信 vol.77

まもなく梅雨入り。  
色とりどりの傘が街中をカラフルに彩ってくれます。



【加子母の風景】朴の葉っぱが大きくなって、いよいよ朴葉ずしの季節です。



## こちら 彩都やまもりです

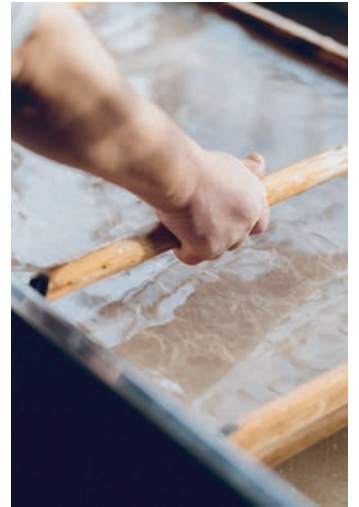
【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

彩都やまもり6・7月彩輝館ギャラリー展示情報

「岐阜の伝統工芸 和紙の魅力に触れる」を紹介します。

【期間】令和4年6月1日(水)～8月1日(月)

豊かな自然と清流で作られる岐阜の和紙には、1300年以上の歴史がありユネスコ世界無形文化遺産に登録されている「美濃和紙」をはじめ、飛騨の山深い豪雪地で800年もの歴史を誇る「山中和紙」があります。そうした岐阜の和紙で作られた和紙製品・工芸品に触れてみませんか？

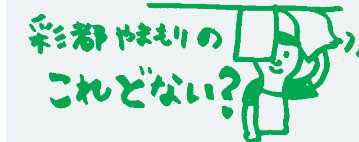


### 豆知識 美濃和紙と山中和紙

美濃和紙は越前和紙(福井県)、土佐和紙(高知県)と並ぶ「日本三大和紙」の一つで、岐阜県美濃市で作られています。美濃和紙は本美濃紙、美濃手すき和紙、美濃機械すき和紙と大きく3種類に分けられ、薄くムラがなくやわらかな風合いが特徴です。また耐久性にも優れているので、昔から障子や屏風、掛け軸、さらには照明器具やインテリア、小物やアクセサリまで様々なものに使われてきました。海外での評価も高く、先の東京オリンピックでは表彰状に使われました。

一方、飛騨紙の一種である山中和紙は、飛騨市川合町で鎌倉時代から続く伝統の手すき和紙で、飛騨紙の産地の中で最も山奥で作られていたことからその名がつけられたとされています。

現在もすべて手作業で作ることにこだわり、冬に雪上で楮(こうぞ)をさらし自然漂白する工法は豪雪地帯ゆえの独特のもの。素材そのものの“生色”は日に当たるとどんどん白くなっていくのが特徴的です。繊維がしっかりと丈夫で、障子紙や神社の御幣にも使われているほか、最近ではかばんや帽子、座布団なども作られています。



### ひのきコースター



ひのきの輪切りでできたひのきのコースターを入荷しました。厚さ1センチ、直径9センチ程度の大きさで、自然の木の形や質感をそのまま生かし、グラスはもちろん、マグカップにもとてもよく似合います。これから暑くなる季節、冷たい飲み物を入れて、おうちでカフェ気分を味わうのもいいですね。彩都やまもりのギャラリーにて1枚より販売中。自然素材のため1枚1枚形は微妙に異なりますので、ぜひお好きな1枚を見つけにいらしてください。

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、  
彩都やまもり HP  
(<https://yamamori.site>) や  
facebook でご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook

## 彩都やまもり あじろと日記

### モデルハウス内に土岐市的美濃焼をレイアウト!

彩都やまもり内に建っている2棟の岐阜県産材住宅モデルハウス。そのうちの1棟「加子母子屋(かしもこや)」のダイニングキッチンに、現在美濃焼の食器でレイアウトされています。すべて土岐市のふるさと納税返礼品で、今回土岐市のご厚意により、期間限定でお借りすることができました。美濃焼といえばどちらかというと「和」のイメージが強いですが、お皿やティーポットなど洋風な感じの食器で統一されていて、淡く明るめの彩りでお家の雰囲気にもぴったりです! 興味ある方はぜひ一度見にいらしてくださいね。



